

高コレステロール 当帰芍薬散で改善

Q 五十九歳、女性。五年ほど前から健康診断のたびに高コレステロール血症との診断を受けています。和食中心の食生活でしたし、水泳など運動もしています。これから一生コレステロール値を下げる薬を飲む必要があるといわれ、ためらっています。

A 高コレステロール血症を放置すると狭心症や心筋梗塞（こうそく）、動脈硬化による病気を引き起こす危険が高いとされる。欧米の肥満患者や高血圧患者では危険因子になる場合が多い。しかし肥満などの危険因子がない場合は、数値のみを正常にする西洋薬の服用には疑問がある。質問者の人間ドックの結果によれば肥満傾向はなく、体脂肪率や血圧も正常。総コレステロ

ール値は閉経を境に徐々に増加してここ数年の値は二六〇前後。HDL（善玉コレステロール）値は四〇前後で、中性脂肪の値は正常上限よりやや高い程度。心電図所見に異常はなく、動脈硬化指数も正常範囲である。このように閉経を機に徐々に高くなる女性の高コレステロール血症は、女性ホルモンの低下に伴って起きる。

質問者は肩こり、腰痛があり、朝方頭が重く、夕方むくみややすいなどの症状があり、既にいくつかの西洋薬を服用している。漢方薬ならこれらの症状を改善し、高コレステロールも低下させる作用がある当帰芍薬散（とうきしゃくやくさん）一剤で対応できる。漢方薬を服用する方が生活の質の向上や医療経済学的見地からも合理的と考える。